

授業科目	ソーシャルワーク実習指導 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE21231J		
開講年次	2	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	文屋 典子、荒木 剛、岡田 和敏、山本 佳代子、通山 久仁子、中川 美幸							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>ソーシャルワーク実習及びソーシャルワーク実習指導の目的と意義、実習に臨むにあたっての姿勢・心構えについて説明する。実習分野と実習施設、クライアントに関する基本的理解を深める。ソーシャルワークの実践で必要とされる知識・技術について講義や演習で学んだことを整理し、実習施設で行われるソーシャルワーク実践にあてはめて理解を深める。実習に向けた具体的な手続き、各種書類の作成、事前訪問の方法、実習先でのマナーや態度、総括レポートについて説明し、実践する。また、実習中は、巡回による指導を行う。実習後は個別指導・集団指導を通して、実習体験を概念や理論に関連づけつつ振り返り、自己の学びと課題を整理する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソーシャルワーク実習の意義と実習に向けての準備・手続きについて理解する。 2. 社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を身につける。 3. ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。 4. 実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	0	20	50	100	
知識・理解 (DP1-1)			5		5		10	
知識・理解 (DP1-2)			5		5		10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			5			2	7	
思考・判断 (DP2-2)			5			5	10	
関心・意欲 (DP3-1)			5			5	10	
関心・意欲 (DP3-2)			5			2	7	
態度(DP4-1)					5	5	10	
態度(DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)					3	7	10	
技能・表現 (DP5-1)						10	10	
技能・表現 (DP5-2)					2	4	6	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. ソーシャルワーク実習に向けての準備・手続きを実行し、主体的に事前学習に取り組む。 2. 社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を身につけている。 3. ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得している。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. ソーシャルワーク実習に向けての準備・手続きについて理解し、実行できる。 2. 社会福祉士として求められる役割、価値と倫理を理解している。 3. 実習施設におけるソーシャルワーク実践に係る知識と技術を理解し、利用者に関わり理解するための基礎的な能力を習得している。 				

4. 実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し体系立て、自己の課題を把握し、改善に向けた取り組みを実行することができる。		4. 実習で得た具体的な体験や援助活動を振り返り、自身の学びと課題を整理することができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>【オリエンテーション・ソーシャルワークの価値と倫理に基づく専門職としての姿勢】</p> <p>ソーシャルワーク実習の意義・目的、授業内容、日程、受講のルール等について説明するとともに、社会福祉士として求められる役割、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢について説明する。</p> <p>高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義	当該テーマについての自己学習	60
2	<p>【実習施設・利用者に関する基本的理解】</p> <p>実習施設の目的や機能、利用者の特性・ニーズについて理解を深める</p> <p>高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義、演習	当該テーマについての自己学習	60
3	<p>【実習施設・利用者に関する基本的理解】</p> <p>実習施設の目的や機能、利用者の特性・ニーズについて理解を深める</p> <p>高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義、演習	当該テーマについての自己学習	60
4	<p>【実習に必要な書類の作成】</p> <p>実習生紹介票、実習計画書等の作成について個別指導を行う。</p> <p>高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	個別指導	当該テーマについての自己学習	60
5	<p>【実習に必要な書類の作成】</p> <p>実習生紹介票、実習計画書等の作成について個別指導を行う。</p> <p>高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	個別指導	当該テーマについての自己学習	60
6	<p>【事前訪問・見学実習について】</p> <p>事前訪問・見学実習の目的、方法、注意事項について説明する。</p> <p>高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義	当該テーマについての自己学習	60

7	<p>【実習日誌について】 実習日誌の意義・目的、日誌の管理、プライバシー保護を念頭に置いた記入の方法について説明する。 高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義	当該テーマについての自己学習	60
8	<p>【実習日誌について】 実習日誌の記入内容、記入方法について実践的に理解する。 高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義、演習	当該テーマについての自己学習	60
9	<p>【実習で必要となる知識・技術について】 実習で必要となる知識・支援技術について理解する。 高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義、演習	当該テーマについての自己学習	60
10	<p>【実習で必要となる知識・技術について】 実習で必要となる知識・支援技術、他の職種の専門性や業務について理解する。 高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義、演習	当該テーマについての自己学習	60
11	<p>【実習前の最終確認】 実習に臨むにあたっての心構え、確認事項、注意事項等について最終確認を行う。 高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	講義	当該テーマについての復習、事前学習で学んだ内容についての復習、自己学習	60
12	<p>【実習の振り返り】 個別面談による実習の振り返り、実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理、レポートの作成を行う。 高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	個別指導	当該テーマについての自己学習	60
13	<p>【実習の振り返り】 個別面談による実習の振り返り、実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理、レポートの作成を行う。 高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	個別指導	当該テーマについての自己学習	60
14	<p>【領域別報告会】 実習領域ごとに実習を通しての学び・課題・反省を報告し、各自の学びと課題の整理を行う。 高齢者・地域領域: 荒木 障害者領域: 通山 児童・障害児領域: 文屋 医療領域: 岡田・中川・山本</p>	グループワーク	当該テーマについての自己学習	60

15	<p>【領域別報告会】 実習領域ごとに実習を通しての学び・課題・反省を報告し、各自の学びと課題の整理を行う。 高齢者・地域領域：荒木 障害者領域：通山 児童・障害児領域：文屋 医療領域：岡田・中川・山本</p>	グループワーク	当該テーマについての自己学習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	各自の実習領域に関する法制度やサービス、利用者の特性、支援技術等についての知識を必要とする。			
テキスト	「ソーシャルワーク実習マニュアル」西南女学院大学 保健福祉学部福祉学科			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：最新社会福祉士養成講座 8 「ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習 [社会専門]」 中央法規			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	各実習領域ごとに、実習に臨むにあたって必要となる知識や技術について授業で取り上げていきます。授業中の学習にとどまらず、自己学習にも積極的に取り組み学びを深めていきましょう。			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	実習レポート(レポート)、実習に関する必要書類や課題等(レポート外の提出物)、その他(授業・自己学習への取り組み、グループワーク等におけるコミュニケーション、協力など)により総合的に評価します。 なお、この授業における度重なる遅刻や欠席、提出物の遅れ等が見られた場合は、実習に臨むために必要となる準備が十分にできていない状態とみなし、実習取りやめの措置をとります。
--------------------------------	---

